県政報告

命を守る「補修」柔軟な対応求む

官民連携に期待

神奈川県議会議員　国松 誠

　高度経済成長期に整備されてきた、道路、橋梁、下水道などの社会資本が一斉に老朽化し、補修をしなければならない時期がきています。

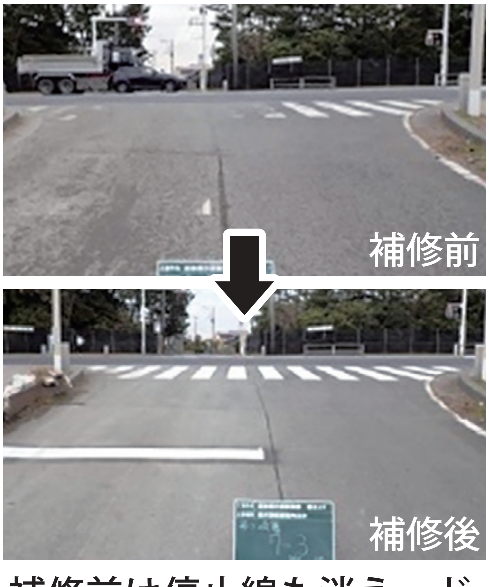
　中でも、最近目立つように思えるのが消えかけた横断歩道。みなさんのお住まいやお仕事の周辺ではいかがでしょうか？

　交通規制が伴う横断歩道や一時停止線などは、道交法で県警が維持管理することが定められています。しかし、毎年道路は延伸され、管轄する警察の予算にも限りがあるため、補修はみなさまのご要望に基づき、劣化の激しい場所や、多くの方が利用する駅前区域など必要性に合わせて優先順位をつけ進めざるを得ない状況です。

　抜本的な解決策として提案したいのは、全て警察予算で補修するのではなく、県の道路整備などの土木費など関係部局の予算で柔軟に対応することです。

　過去、厚木市では経年劣化で消えかかった横断歩道を渡っていた女子児童が車にはねられ死亡するという痛ましい事故も起きています。横断歩道は歩行者が待っている場合、道交法上、車両は停止して横断を優先させる義務があり、あるだけでドライバーは人の往来を意識します。命を守る施策として、警察予算、県予算と杓子定規にならず、柔軟に対応すること、これが政治ではないでしょうか。

　そして、普段地域でお住まいの地域のみなさまからの声こそが、危険個所の改善に向けた大きな力となります。万が一をなくす努力を今後とも続けて参ります。ご意見、ご要望含め、お気軽にお声をお寄せください。



補修前は停止線も消え、ドライバーが横断者の存在を想定しにくい。補修後ははっきりと見えるため、横断者の存在を意識した安全運転につながります。

神奈川県議会議員
国松 誠（かながわ自民党）

■経歴
1961年生まれ
神奈川県立藤沢西高卒
明治大学法学部卒
衆議院議員　藤井裕久秘書
藤沢市議会議員
藤沢市議会議長、全国市議会議長会会長

■現在
神奈川県議会議員４期目
藤沢病院、御所見病院評議員
わかたけ、遠藤、六会保育園理事
光友会理事
喜寿福祉会評議員
社会福祉法人縁樹理事
社会福祉法人三つ葉会理事
藤沢市ソフトボール協会副会長
藤沢市ラグビー協会顧問
藤沢リトルリーグ顧問
藤沢市ダンススポーツ連盟顧問

☎0466-31-3555
kunimatsu-makoto@outlook.jp
http://www.m-kuni.com/